

教育会だより

8

平成30年度 充実の諏訪教育会

教育会テーマ「より据える より深める より開く」...未来を見据え、共に学ぶ...

～ 変わらないために 変わり続ける ～

3月1日(金)、今年度のまとめとなる第5回社員総会が行われました。年度末の忙しい中、社員の先生方には定刻にご参集いただき、一年を振り返る大切な総会となりました。

林 満彦会長の挨拶より



今年度5月の季節大学会講師：福岡伸一先生(分子生物学者：青山学院大教授)が話された「変わらないために、変わり続ける」を、今年度の諏訪教育会の活動に位置づけてきました。

○変わらないもの.....教職員としての職能向上・自己研鑽

○変わり続けるもの...創造性を持ち、より良いものを求める

これをもとに、私たち教職員がどう教育会に参加・参画していくかを大切に考え取り組んできました。そして、次の二つが大きな変化・成果となって諏訪教育会の前進につながりました。

1 教育博物館は、情報発信のキーステーション！

諏訪教育博物館への来館者数が、今年度は**1500人突破確実!**(昨年度から約400人増)その要因は...

館内がリニューアルされ見やすくなったこと・コーヒーコーナーも好評。

ワークショップなど参加体験型の活動に取り組み、発信も活発に行ったこと。

各校に協力いただいた企画展や、児童生徒の作品展が充実していたこと。

その他にも多くの企画・工夫があり、行きたくなる教育博物館運営を進めていただいたことがあると思います。

【来場者の感想ノートに書かれていた地域の方の心温まるコメント】

(児童生徒作品展を見に来て)日頃知らなかった孫の一面を知ることができ、とても嬉しく感動しました。ありがとうございました。

2 社員総会での「フリートキング」による情報共有

社員の声より...「これまでの社員総会は、指示伝達というイメージがありました。

今年度は、自分たちが参画していくための大事な時間だったと思います。」

教育会活動の更なる充実に向けて、グループ内で様々な意見交換が行われました。

この他にも、今年度は、赤彦祭で小グループのよる作品を味わう時間を取り入れたり、教職員バスケットで、フリースロー大会を取り入れたりしてきました。こうした充実した取組ができたのも先生方の温かなご協力のおかげです。ありがとうございました。

今回の社員総会では、[31年度の諏訪教育会事業計画]と[31年度予算案]が承認されました。続いて平成30年度公益社団法人諏訪教育会事業報告が、各部長より発表されました。

(1)教科等研究部：白鳥(2)専門部：矢島(3)研修部：伊東(4)広報部：笠原(5)諏訪季節大学部：山田(6)自然調査研究部：両角(7)郷土調査研究部：飯田(8)諏訪教育博物館部：岩波(9)特別部：西尾

今回の社員総会でも、小グループによるフリートーキングで
「本年度諏訪教育会の活動で心に残ったこと」「会員増への工夫」
について話し合いを行いました。

会誌「諏訪教育」の良さと会員増への働きかけ

今年度の会誌「諏訪教育」は135号・136号を発行。会誌委員長として携わり、改めてその内容の質の高さ、先生方の実践の深さ、教育博物館の充実ぶりなど、どのページからも先生方の『学ぶ意欲』を強く感じました。こうした素晴らしさを、新年度になったら、新しく赴任された先生方に紹介し、諏訪教育の魅力を伝えることで、入会や会員増につなげていきたいと思ひます。



諸活動の充実と質の向上をめざして、更なる工夫を

働き方改革が推し進められる中、教育会としても一つの視点として「精選・見直し」と共に「充実と質の向上」につなげていきたい。会にも「集まった方が良い会」と「集まらなくてもできる会」があるように思ひます。「集まらなくてもできる会」は、例えば Web を使って会合する等、時代に合った工夫もできると思ひます。

係の先生方への感謝と、学びの心構えを大切にする「教育会」をこれからも

- ・5月の定期総集会をはじめ、活動は「裏方」の先生方が支えています。裏方で頑張ってくれている先生方にも感謝できる一人の人間・教職員でありたい。
- ・バスケットのフリースロー大会は、体力や年齢などに関係なく参加でき、とても良かった。
- ・私は書道研究会で研修しています。みんなで学べる楽しさも魅力の一つです。
- ・教育会の入会に会費は必要ですが、自らどう参加するか『学びの心構え』をもっと大切にして、互いに声をかけ合って会員を募っていきたく思ひます。

【林満彦会長のまとめ】

積極的に話し合ってくださった社員の皆さんに感謝です。3名の社員から、現状や改善点、教育会の本質や会員増をめざしての貴重な意見を出していただきました。キーワードは「双方向の心を大切にする事」ですね。参加する人・運営する人の双方向、委員会を進める人同士の双方向「学ぶ心の双方向」をこれからも大切にして、諏訪教育会の発展につなげましょう。

- ・正副議長の柳平正司社員（岡谷北部中）・守屋 守社員（上諏訪中）
 - ・歌での指揮・伴奏：名取元子社員（豊平小）、内藤恵理子社員（泉野小）
- 1年間に渡って大変お世話になりました。本当にありがとうございました！

各校のチームワークは、すべて第1位！

＝ 「平成」最後の 教職員バスケットボール大会 ＝

2月2日（土）第66回教職員バスケットボール大会が、諏訪中・諏訪南中・長峰中・岡谷南部中の4校を会場にして行われました。どの会場でも熱いプレーの連続で、フェアプレー、珍プレー、好プレーなどなど「会員相互の絆を深める」



というねらいに添った良い大会となりました。順位の違いはあっても、プレーヤー・応援する人真剣さや笑顔もあって、全てのチームが第1位のチームワークでした。



大会運営にあたって、会場準備・オフィシャル等、運営に関わってくださった役員の方々・会場校の先生方、バスケット部の生徒の皆さん、全ての皆様から感謝です。平成最後の大会となりましたが、これも一つの記念ですね。本当にありがとうございました。